

2026年5月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ【イギリス(ロンドン)出身アーティスト】

📌…ジャズ・ビギナーにおすすめ

日	曜日	管理ID	ジャケット名	アーティスト	ひとこと	
☆	1	金	20	アワー・ポイント・オブ・ヴュー	フランク・リコッティ	自身のファースト・アルバム。クリス・スペディング(g)、クリス・ローレンス(b)、プライアン・スプリング(ds)との共演。69年録音。
☆	2	土	22	ライヴ・アット・ロニー・スコッツ	ロニー・スコット	自身が開店させたロンドンのライブ・ハウス「ロニー・スコッツ・クラブ」での録音盤。ジャケットはハンフリー・リトルトンによる風刺画。69年録音。
📌	3	日	11467	ララバイ・オブ・バードランド	ジョージ・シアリング	シアリング作曲の同名曲を中心に、日本独自の編集による第2期ジョージ・シアリング・クインテットの名演集。51年～54年録音。
	4	月	11154	イン・ホーグランド 1981		ジョージ・フェイムとアニー・ロスが、作曲家ホーギー・カーマイケルの名曲を歌ったアルバム。カーマイケル生前最後の録音。81年録音。
	5	火	64	ウェスタン・リユニオン・ロンドン 1965	ザ・ニュー・ジャズ・オーケストラ	イギリスのジャズ・ビッグ・バンド「ザ・ニュー・ジャズ・オーケストラ(略称: NJO)」のファースト・アルバム。65年録音。
	6	水	2210	クレオ・レーン・ライヴ・アット・カーネギー・ホール		カーネギー・ホールでのライヴ録音盤。バンドの編曲と指揮は夫のジョニー・ダンクワース(as, cl)。73年録音。
☆	7	木	5603	フリーダム・アット・ラスト	ボビー・ハリソン	元「プロコル・ハルム」のボビー・ハリソン(ds)が新たに結成したブルース・ロック・バンド「フリーダム」のファースト・アルバム。69年録音。
	8	金	55	ローリン	ドン・レンデル	後にキーボード奏者に転向し、ロック界の大物になるグラム・ボンド(as)が参加。61年録音。
	9	土	2114	オープン	ジュリー・ドリスコル	名ピアニスト/オルガン奏者プライアン・オーガ率いる「ザ・トリニティ」との連盟によるデビュー・アルバム。67年録音。
				19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「内田修ジャズ・LPLレコード・コレクション」で伝説のジャズ・レーベル「スリー・ブラインド・マイス」を聴く/第17回: 土岐英史、宮間利之、和田直		
☆	10	日	4779	ジ・アライヴァル・オブ・ヴィクター・フェルドマン		アメリカ移住後すぐに録音された、アメリカでの初リーダー作。スコット・ラファロ(b)、スタン・レヴィー(ds)との共演。58年録音。
☆	11	月	HC0372	アライヴ・アット・ロニー・スコッツ	キャロル・グライムス ジャネット・メイソン	ロンドンのロニー・スコッツ・クラブで行われたイベントを収録したアルバム。94年録音。
☆	12	火	48	エッジ・オブ・タイム	ノーマ・ウィンストン	UKアルゴからリリースされたソロ名義のファースト・アルバム。ウィンストンの自在なボーカルが冴えわたるブリティッシュ・ジャズ。72年録音。
☆	14	木	572	ローカル・カラー	ピーター・レマー	タイトルはイギリスなので「Color」でなく「Colour」。ジョン・サーマン(bs)、ジョン・ハイズマン(ds)が参加。66年録音。
☆	15	金	45	エクスペリメンツ・ウィズ・ポップス	ゴードン・ベック	自身のリーダー作。若かりし日のジョン・マクラフリン(g)が参加し、タイトル通りポップスのジャズ化を試みたアルバム。67,68年録音。
	16	土	59	ジャズ・テテ・ア・テテ	タビー・ヘイズ, 他	プリストル・ユニバーシティーズ・スチューデント・ユニオンで行われた白熱のライヴ・セッション。66年録音。
☆	17	日	92	1984	ヒュー・ホツパー	イギリスのプログレ・ジャズ・ロック・バンド「ソフト・マシーン」を脱退する直前に発表した、ソロ名義のアルバム。73年録音。
☆	18	月	HC1505	ドーリー・バード	リアン・キャロル	ロニー・スコッツクラブでのライヴ録音盤。パースナはビート・カートリー(g)、ステイブ・ラム(b)、グレッグ・レバード(ds)。97年録音。
	19	火	71	ディープ・ダーク・ブルー・センター	グラハム・コリアー	イギリスのデラムレーベルから発表されたデビュー作。抽象的なホーン・アンサンブルが非常にスタイリッシュな一枚。67年録音。
	21	木	44	プレイヤー・フォー・ピース	アマルガム	イギリスを代表するフリー系サクソフナー・ワッツ率いる「アマルガム」のデビュー・アルバム。69年録音。
☆	22	金	75	ワンス・アポン・ア・タイム	アラン・スキッドモア	自身の初リーダー作。パースナはケニー・ホイラー(tp)、ジョン・テイラー(p)、ハリー・ミラー(b)、トニー・オクスレイ(ds)。69年録音。
	23	土	27	レイ・ラッセル・ライヴ・アット・ザ・I.C.A.		ロンドンのICAでのライヴ音源。フリー・ジャズ、ブルース・ジャズ、スピリチュアル・ジャズの要素満載のアンサンブル。71年録音。
				19:00～ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「内田修ジャズ・LPLレコード・コレクション」で伝説のジャズ・レーベル「スリー・ブラインド・マイス」を聴く/第18回: 水島早苗、大友義雄、山本剛		
☆	24	日	47	アウトバック	マイク・オズボーン	オズボーンのソロ・デビュー作。A面とB面にそれぞれ1曲ずつという大胆な構成のフリー・ジャズ。プロデュースはピーター・エデン。70年録音。
	25	月	58	ペンデュラム	マイク・テイラー	ジョン・ハイズマン(ds)、トニー・リーヴス(b)、デイヴ・トムリン(ss)のカルテット。A面はスタンダード、B面はオリジナル曲を収録。66年録音。
☆	26	火	5753	エルトン・ディーン		「ソフト・マシーン」に在籍し、黄金期の3枚のアルバムでリード奏者として活躍したエルトン・ディーン初のソロ・リーダー作。71年録音。
	28	木	HR864	ザ・ドラム・イズ・エヴリシング	カーメル	ヴォーカル、ベース、ドラムという個性的な編成のフェイク・ジャズ・バンド、「カーメル」のセカンド・アルバム。84年録音。
	29	金	49	シンセシス	ローリー・ジョンソン	「ロンドン・ジャズ・オーケストラ」と「ロンドン・フィルハーモニック・オーケストラ」を率いて録音されたアルバム。70年録音。
☆	30	土	8294	ウィー・スティル・ラヴ・ユー・マッドレー	スタン・トレイシー	30～40年代のエリントン・ナンバーを現代風のアレンジで聴かせるノスタルジックなビッグ・バンド・ジャズ。88年録音。
☆	31	日	HR4850	シングス・ソングス・オブ・ザ・トウエンティーズ	ヴェラ・リン	第二次世界大戦期「イギリス軍の恋人」と呼ばれ、戦後もイギリス国民に愛され続けたヴェラ・リンの1920年代の名曲集。59年発表。

◆ コンサートの内容は、変更になる場合がございます。何とぞご了承ください。